

4 切る・刺さる

「切る・刺さる」は、成人と子どもでも多く発生しています

高齢者

- 剪定バサミで枝を切っていて、誤って手にケガをした
- 果物を包丁で切っていて、誤って手にケガをした

成人

- ラジコン飛行機のプロペラで、手にケガをした
- スライサーを使用中に、誤って手にケガをした
- 窓ガラスが割れて足に刺さり、出血をした

子ども・乳幼児等

- カミソリで遊んでしまい、手にケガをした
- ガラス製のコップが割れ、手にケガをした

予防対策

○刃物や鋭利な物に注意しましょう

- ・刃物や先端が鋭利な物を使用するときは、力任せにせず、注意しながら作業しましょう

○工具類に注意しましょう

- ・電動工具での事故は大ケガになることがありますので、取扱いには注意しましょう

○危険なものは収納するようにしましょう

- ・子どもは何にでも興味を持って遊び道具にしますので、手の届かない場所に収納しましょう

☆「切る・刺さる」は出血が伴うことが多いため、止血等の応急手当を身に付けましょう